

長野大学
数理・データサイエンス・AI教育プログラム
自己点検評価（2023年度）

自己点検内容	自己評価	評価理由
プログラムの履修・修得状況	C	令和5年度は、ガイダンス時の周知が十分でなかったため、履修者が少ない状況であったが、全学部からの履修はあった。計画達成に向け、さらなる学内での周知が必要である。
学修成果	B	数理・データサイエンス・AI教育推進委員会において、授業アンケートによる学修者の到達度の把握、成績等を相対的に検証・分析により、学修成果の確認と改善に向けた検討を行った。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	A	授業アンケートの到達理解度は回答が上位2位「そう思う」「ややそう思う」の回答で100%となり、理解は十分にできていると考えられる。 学修目標の到達度についても、91%が「達成できた」「少し達成できた」となっており、学修目標もほぼ達成できていると考えられる。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	B	授業アンケート結果の公開や、ガイダンスでの周知により履修の推奨をさらに実施していく必要がある。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	C	ガイダンスでの周知ができなかったため、令和5年度は履修者が少ない状態であったが、今後の計画に沿って社会のニーズに対応するための学生の意識改革を継続的に行う必要がある。
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	-	本プログラムは2023年度生からの全学的なカリキュラムであり、修了生がいないため未評価とする。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	C	本学の「インターンシップ」の正課科目でのインターンシップ派遣先の企業に協力を得て、当該プログラムでの教育についての意見聴取を行い、当該プログラムに産業界のニーズを取り入れた改善策の策定をさらに実施していく必要がある。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	A	授業アンケートでの「学びの意欲や知的好奇心を引き出すものであったか」についても64%が「そう思う」36%が「ややそう思う」という100%が上位2位までの回答であった。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	A	授業アンケートの到達理解度は回答が上位2位「そう思う」「ややそう思う」で100%となり、理解は十分にできていると考えられる。

評価

- A：審査項目の観点を上回る評価を達成した
 B：審査項目の観点通りの評価を達成した
 C：審査項目の観点通りの評価には不十分であるが、達成に向けての対応に着手している
 D：審査項目の観点通りの評価には不十分であり、達成に向けての対応に着手しておらず改善が必要である